

令和4年度
第3回パラスポーツ推進
プロジェクト実行委員会
(書面開催)

○ 報告事項

1 関係団体との連携状況について

(1)各特別支援学校等におけるスポーツ交流教室実施状況

(2)相談窓口の対応状況

2 パラスポーツやってみるじゃんフェスティバルについて

(1)実施報告・成果及び課題

(2)アンケート集計

3 今後の取り組みについて

4 その他

(1)用具の貸出状況

(2)県政出張講座

目 次

資料 1	各特別支援学校等におけるスポーツ交流教室実施状況	・・・ 1～2
資料 2	相談窓口の対応状況	・・・・・・・・・・ 3～5
資料 3	パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル 実施報告・成果及び課題	・・・・・・・・・・ 6～8
資料 4	パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル アンケート集計	・・・・・・・・・・ 9～10
資料 5	今後の取り組みについて	・・・・・・・・・・ 11
資料 6	その他	・・・・・・・・・・ 12～13

(1) 各特別支援学校等におけるスポーツ交流教室実施状況

資料 1

	月日	場所	内容	参加人数
1	7月2日	山梨県立盲学校グラウンド・体育館	ブラインド体験	40
2	7月3日	甲府市里垣小学校体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	3
3	7月9日	山梨県立わかば支援学校体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	15
4	9月3日	山梨県立桃花台学園体育館	ボッチャ体験	13
5	9月11日	山梨県立盲学校グラウンド・体育館	グランドソフトボール体験	11
6	9月17日	山梨県立盲学校グラウンド・体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	30
7	9月23日	山梨県立盲学校体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	12
8	10月19日	山梨県ボランティア・NPOセンター	サウンドテーブルテニス体験	15
9	11月12日	山梨県立わかば支援学校体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	12
10	11月22日	南アルプス市甲西健康福祉センター	ボッチャ体験	16
11	11月23日	山梨県立盲学校体育館	ボッチャ・ゴールボール体験	46
12	11月26日	山梨県立桃花台学園体育館	ボッチャ・フライングディスク体験	3
13	12月11日	小瀬スポーツ公園ランニングコース	走るの楽しいよ会	14
14	12月11日	青葉インドアテニススクール	車いすテニス体験	9
		8カ所	8種目	計239

成果

- ・ 日常的に利用している地域の施設でも交流会を実施しパラスポーツの周知ができた。
- ・ 車いすテニスの活動をしている高校生の紹介と実技の披露ができ、参加者は車いすテニスの体験ができて良かった。
- ・ 講演会で講師を務めたことにより、次への繋がりと自身の指導への生きがいの一歩になった。併せて家族がパラスポーツの普及にとの思いも広がり、初級指導者養成会に申し込み意志を伝えてくれた方もいた。

課題

- ・ 支援学校での交流会を含め、学校に協力してもらい個々にチラシを配布したがコロナの影響で参加人数が少なかった。
- ・ 交流会開催予定を新聞のイベント情報などを活用し多くの方に周知すべきだった。
- ・ 放課後デイサービスなどの施設にチラシを配布するといった工夫が必要だった。
- ・ 障害者スポーツ指導員の方にもイベントの協力を促すことが必要だった。
- ・ 障害児を持つ親への協力と障害児生に関わる方たちへの協力と呼びかけが必要だった。

今後の予定

月日	場所	内容
1月6日	山梨県立かえで支援学校	ブラインド体験
1月15日	山梨県立ふじざくら支援学校	ボッチャ・フライングディスク体験
2月4日	甲府市総合市民会館	ボッチャ・カローリング体験

【交流体験会実施例の報告】 ボッチャ・ゴールボール体験

令和4年 11月23日 水曜日

会場：山梨県立盲学校体育館

参加者：池田地区在住幼児及び児童約46名

内 容：ボッチャ・ゴールボール

体験の様子

ボッチャ体験では、今回小学生5・6年生の7名が事前にボッチャのルールの説明・注意点を確認したうえで競技の運営にあたってもらった。運営にあたってくれた、高学年生は幼児にルール教えながら進めてくれた。

ゴールボールでは、はじめは競技に慣れてもらうためにブラインドサッカーボールを利用し練習を行った。後半は試合形式で体験してもらった。



(2) 相談窓口の対応状況

資料2

相談件数 16件

- ・R4. 6月27日～ 9月27日 7件（第2回パラスポーツ推進プロジェクト実行委員会で報告済み）
- ・R4. 9月28日～12月 1日 9件

- (a) 脊柱管狭窄症により左足に障害があるがスキーを含め運動をしたい。
障害者のスキー連盟はあるのか（60代男性から）
- (b) 9/29のパラアスリート講演会を聞いて、講演会を開催したい（ボランティアセンターから）
- (c) 視覚障害の方がサウンドテーブルテニスを体験してみたい（障害者スポーツ指導員から）
- (d) 自分でできるスポーツを体験してみたい（視覚障害者から）
- (e) ボッチャ関東地区予選会で補助員の協力をお願いしたい（ボッチャ協会から）
- (f) 地域の方を対象にボッチャ指導学習会をお願いしたい（南アルプス市社協）
- (g) 再度パラスポーツ体験会を開催して欲しい（9月17日の体験会不参加者から）
- (h) 福祉体験をするのに何がいいか、どんな用具の貸出ができるか（北杜市小学校から）
- (i) 障害者の野球チームはあるか（知的障害のある生徒の保護者から）

	対応状況	連携先
a	障害者のスキー連盟について、県内にはないと説明。担当医と相談したうえで、体験できるスポーツがあれば他のクラブの紹介ができる旨を説明した。	今のところなし
b	甲府総合市民会館11月20日に行われた講演会の講師を紹介した。 （講師：五味翔太さん・田中千晶さん） 2月4日ボッチャ体験会・2月11日ランニング体験会を予定。	ボランティアセンター パラアスリート
c	10月19日支援学校でのサウンドテーブルテニス交流会への参加を促し、参加してもらった。11月6日のパラフェスティバルに参加を促して、参加してもらった。	障害者スポーツ指導員
d	サウンドテーブルテニス体験をすすめ、10月19日の交流会に参加してもらった。	県内障害者クラブ
e	「ボッチャの会」と障害者スポーツ指導員に依頼し、当日6名に協力してもらった。	ボッチャの会 障害者スポーツ指導員
f	11月22日に甲西健康センターでボッチャ体験学習会を実施した。 （16名参加）	障害者スポーツ指導員
g	11月23日盲学校にて、開催されたスポーツ交流教室に参加を促し、ボッチャ・ゴールボールの体験に参加してもらった。	社会福祉法人「あそびじゆく」 （池田スポーツスクール）
h	12月6日ボッチャ3セットを貸し出した。	障害者スポーツ協会
i	山梨県には知的障害者野球チームはないと説明。また、視覚に多少障害があるとのことなので視覚障害者の野球チームを案内した。	今のところなし

成果

- ・相談の実数はまだ少ないが、周知が進むことで今後、コロナの落ち着きにより問い合わせが多くなる兆しが見えた。
- ・ほとんどの相談の要望に応え、実際の活動につなげることができた。(障害者スポーツ団体への紹介・用具貸出・交流会の実施)
- ・社協での交流事業について、在住する障害者スポーツ指導員を紹介し、以後のボッチャの指導に対応することができた。
- ・交流会やフェスティバルなどの実施によりパラスポーツを体験してもらうことができ、参加者から喜びの声が聞かれた。
(障害のない方には、障害者と一緒に活動することで、障害者への認識の変化を感じてもらえた。)
- ・4圏域の各支援学校からは管理職等の理解・協力が得られ、交流教室を実施する(予定を含む)ことができた。

課題

- ・相談窓口について、より多くの方に知っていただくようにする必要がある。

【相談窓口対応から体験会への実施例の報告】サウンドテーブルテニス体験

令和4年 10月19日 水曜日

会場：ボランティアセンター

参加者：障害者クラブメンバー4名が体験

内 容：サウンドテーブルテニス

体験の様子

はじめての競技だったので場面場面でルール解説を行った。サウンドテーブルテニス競技を理解するのに多少時間はかかったが、説明を受けて実際に体験することで奥深さや、面白さを感じたと言っていた。また、参加者からは、スピードの速さに驚き、「ラケットが追い付かない」「打っても違う方向に行ってしまう」「これでアイマスクをしたらどうなるの」「スピードもあり、瞬時に考える、イメージを広げポイントをとる、奥深さを感じる」などの感想をいただいた。相談をいただいていた視覚に障害がある方も参加いただき、メンバーの中に知り合いの方がいたこともあり、和気あいあいとゲームを楽しんでいた。中途失明以前に卓球の経験もあったことから全体のイメージがあり、スムーズにゲームができた。



実施報告・成果及び課題

1 事業の目的

パラスポーツの体験を通じて障害やパラスポーツへの理解を深めるとともに、障害のある方の社会参加の促進及び共生社会の実現へ繋げる。

2 日時 令和4年11月6日(日) 午前9時から正午まで

3 場所 山梨県立青少年センター(甲府市川田町517)

4 参加者 167人

5 連携団体

山梨県ポッチャ協会・山梨ペンギンズ山梨ブラインドサッカークラブ・山梨サウンドテーブルテニスクラブ・山梨県障害者フライングディスク協会
障がい者スポーツ指導員協議会・山梨学院大学・山梨県ボランティアNPOセンター・山梨県障害者福祉ふれあい会議

6 内容

・パラスポーツ7種目の体験

(ブラインドサッカー、フライングディスク、サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、車いすスラローム、ポッチャ、加ーリング)

・障害福祉施設による物品販売・パラスポーツ用具の展示

9:00	9:20	9:30~12:00	
受付	開会式	体験会	
正面玄関	グラウンド 次第 ・県あいさつ ・協力団体紹介 ・諸連絡 ・準備体操	体育館	・車いすバスケットボール ・カローリング ・サウンドテーブルテニス ・ポッチャ
		グラウンド	・ブラインドサッカー ・フライングディスク ・車いすスラローム
		音楽室	・パラスポーツ用具の展示コーナー
		連絡通路	障害者福祉施設による販売コーナー (雑貨、農作物)

7 当日の様子

・開会式



・フライングディスク



・車いすバスケット



・ボッチャ



・障害福祉施設による物品販売



・ブラインドサッカー



・サウンドテーブルテニス



・車いすスラローム



・カローリング



8 パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル成果及び課題

- ・ 障害のある方が参加できるスポーツイベントがほとんどなかった本県において、パラスポーツの総合型体験イベント開催は初の試みとなった。
- ・ 当日の様子は NHK の県内ニュースで紹介されたことから、一般県民に対してもパラスポーツへの一定の理解が進んだと思われる。
- ・ 当日は 167 人の参加者が共にパラスポーツを体験し、障害の有無に関わらずスポーツを楽しむ姿が見られたことは、誰もが身近な地域でスポーツに参加できる環境づくりに向けた大きな契機となった。
- ・ 「フェスティバルの満足度」(参加者アンケート Q5) については、回答した参加者の内 76% が「すごく楽しかった」と回答しており、「まあまあ楽しかった」と回答した 23% と合計すると、99% の参加者がパラスポーツを楽しめたという結果となった。障害の有無に関係なく、誰もが一緒に楽しむことができるというパラスポーツの魅力が、イベント全体の満足度向上に繋がっていることが考察される。
- ・ パラスポーツ種目の認知度について、「今回はじめて知った種目は何ですか」(参加者アンケート Q7) の問いに対して、パラリンピック種目であるボッチャ、車いすバスケット、ブラインドサッカーは認知度が高い一方で、サウンドテーブルテニス、車いすスラローム、カローリング等、あまり知られていないパラスポーツが複数種目あることが分かった。
- ・ 競技団体が体験ブースを運営することにより、多くの参加者に競技について知ってもらうことができ、繰り返し取り組むことにより、特に認知度の低いパラスポーツの競技団体にとっては認知度の向上に繋がることが期待される。
- ・ 単発での開催では、一過性の効果に終わってしまうことから、来年度以降の継続を見据えた事業計画が必要である。パラスポーツを通じた障害の理解向上と、共生社会の実現に寄与するフェスティバルへと持続的に発展していくことが期待される。

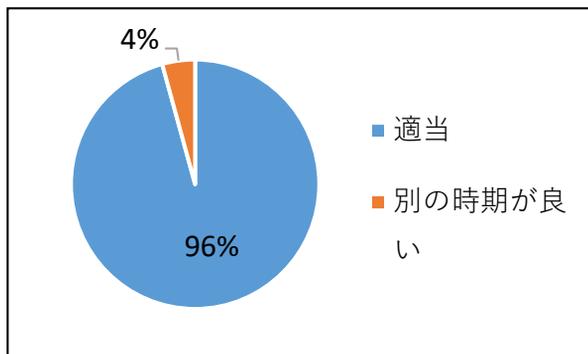
(2) パラスポーツやってみるじゃんフェスティバル参加者アンケート集計

(回収数：125)

Q 1. 日程等について

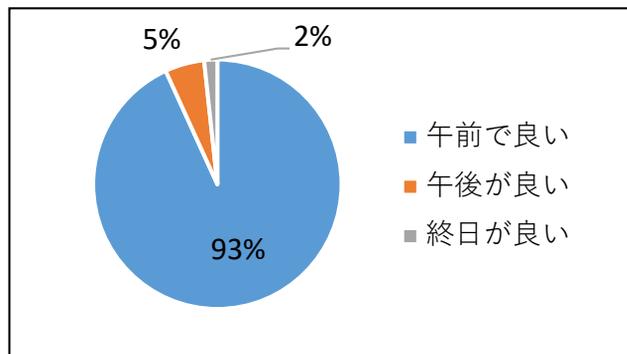
①期日

適当：112 別の時期が良い：5



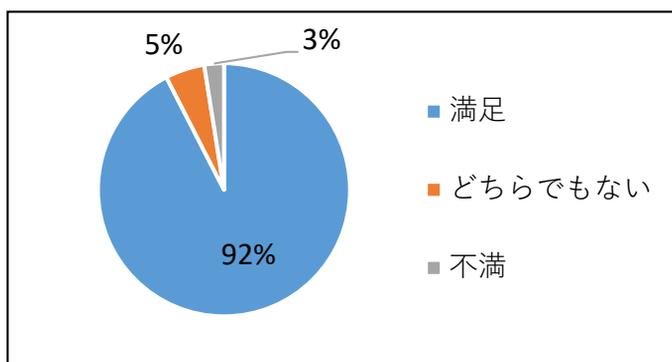
②時間帯

午前が良い：109 午後が良い：6 終日が良い：2



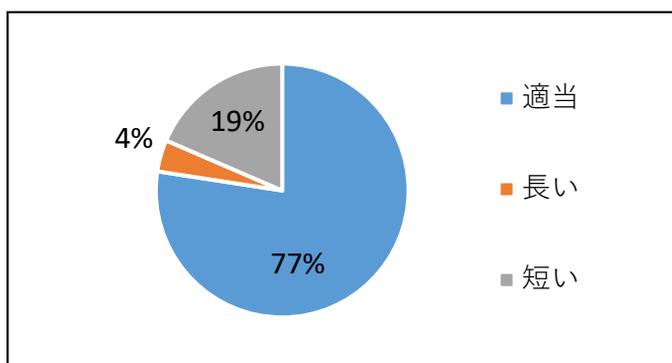
Q 2. 会場について（県立青少年センター）

満足：110 どちらでもない：6 不満：3（理由：駐車場が狭い、少し遠い）



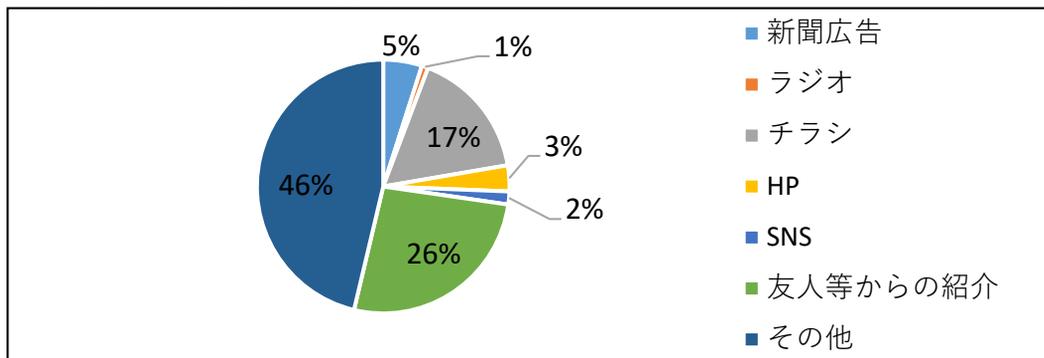
Q 3. 体験の時間について（1種目につき20分）

適当：96 長い：5（10分くらいを希望） 短い：23（25・30・40分くらいを希望）



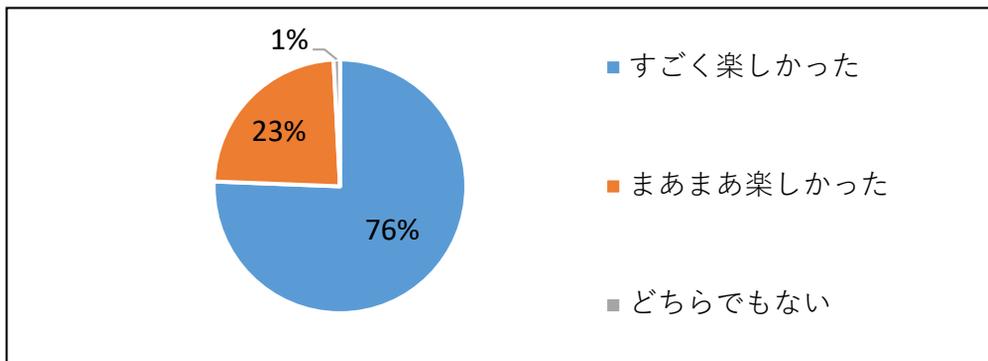
Q 4. フェスティバルの開催を何で知ったか（複数回答可）

新聞広告：6 ラジオ：1 チラシ：20 ホームページ：4 SNS：2 友人等からの紹介：32
その他：56人（学校からの周知）



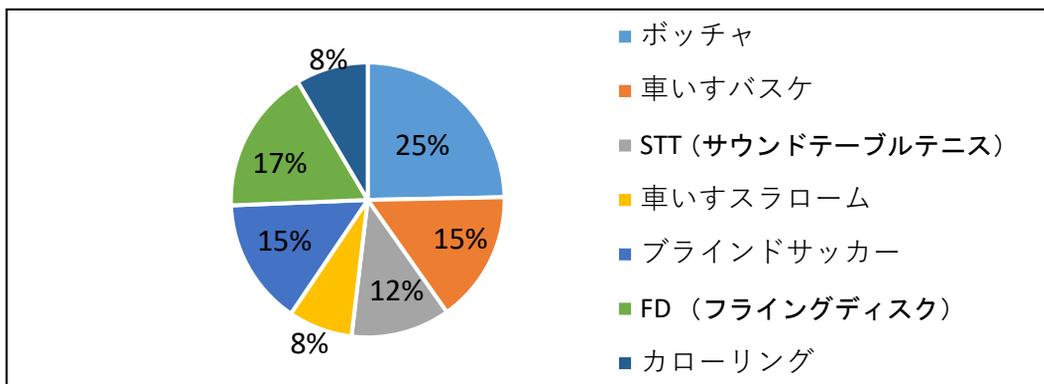
Q 5. フェスティバルの満足度について

すごく楽しかった：93 まあまあ楽しかった：29 どちらでもない：1
あまり楽しくなかった：0 まったく楽しくなかった：0



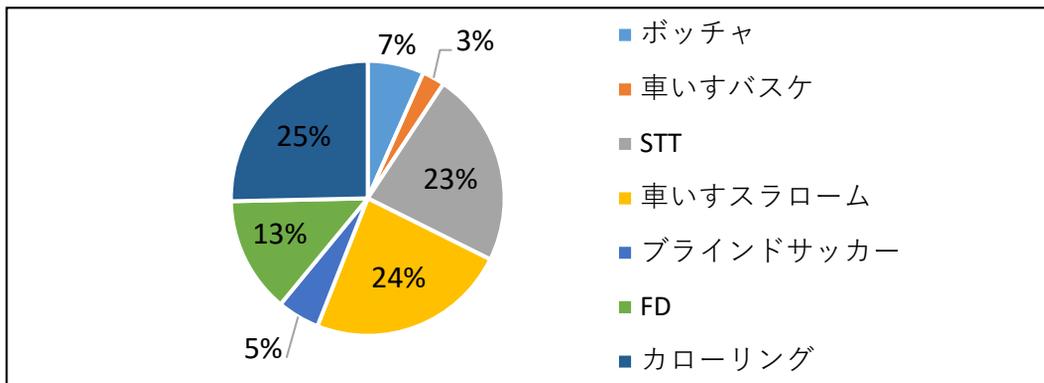
Q 6. 体験してみて楽しかった、興味深かった種目は何ですか（複数回答可）

ボッチャ：78 車いすバスケット：49 STT：37 車いすスラローム：24 ブラインドサッカー：47
FD：54 カローリング：27



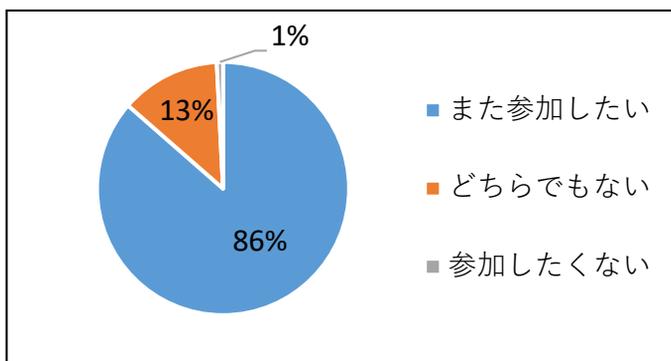
Q 7. 今回はじめて知った種目は何ですか（複数回答可）

ボッチャ：20 車いすバスケット：8 STT：69 車いすスラローム：71 ブラインドサッカー：15
FD：41 カローリング：76



Q 8. 今後またパラスポーツイベントの機会があったら参加したいですか

また参加したい：108 どちらでもない：16 参加したくない：1



3, 今後の取り組みについて

資料5

パラスポーツ推進プロジェクトにおけるコーディネーターの役割

・「人づくり」「拠点づくり」を推進するためのステークホルダーとの関係づくり

「関係づくり」に関する以下の項目について今年度中に交流会や体験会等で各団体等と連携を取ることができるようコーディネーターから働きかけて進めていく。

1. コーディネーターが中心となり、スポーツ体験会を企画することで、モデル団体（4圏域毎のモデルとなる総合型地域スポーツクラブ、特別支援学校等）へノウハウを伝達する。
2. パラ競技団体とモデル団体との橋渡しを行い、パラ競技団体へ研修会開催の要請を行って実技研修を実施し、パラ競技の知識獲得を支援する。
3. スポーツ体験会へのボランティアの募集（ボランティアボード等を活用）及び派遣の調整を行う。
4. スポーツ体験会当日の運営補助及び障がい者スポーツ指導員の派遣、スポーツ用具の貸出を行う。
5. スポーツ体験会の参加者へのアンケート調査を実施し、実施効果を分析する。
6. 新たなモデル団体を選定し、実践事例（モデル）を収集する。

4, その他

(1) 用具の貸出状況

R3貸出用具実績表

		R3.4	R3.5	R3.6	R3.7	R3.8	R3.9	R3.10	R3.11	R3.12	R4.1	R4.2	R4.3	合計
ポッチャ	5セット	1	1	1	5	6	3	10	6	10	1	6	2	52
競技用車いす	4台								4	2		1		7
砲丸	2個													0
フライングディスク アキュラシーゴール	3台									2		2	2	6
ディスクゴルフ	4台													0
風船バレー	2セット													0
フライングディスク ディスゲッター	1台	1						1					1	3
フライングディスク ディスク	30枚	30						30		30		30	30	150
スラローム	1式													0
ジャベリックスロー	5本													0
ソフトボール	10個													0
ビーンバック	10個												5	5
ドッチビー	2個													0
グランドゴルフ	2式					1	1		1					3
盲人卓球台	1台													0
ゴールボール	2個						2	4		2		2		10
鈴入りボール	3個						3	3				3		9
合計		32	1	1	5	7	9	48	11	46	1	44	40	245

R4貸出用具実績表

		R4.4	R4.5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4.10	R4.11	R4.12	合計
ポッチャ	5セット			2	3		2		1		8
競技用車いす	4台								3		3
砲丸	2個										0
フライングディスク アキュラシーゴール	3台	1		2	1			1			5
ディスクゴルフ	4台										0
風船バレー	2セット										0
フライングディスク ディスゲッター	1台				2			1			3
フライングディスク ディスク	30枚	20		30	40			20			110
スラローム	1式										0
ジャベリックスロー	5本			3							3
ソフトボール	10個										0
ビーンバック	10個										0
ドッチビー	2個										0
グランドゴルフ	2式										0
盲人卓球台	1台										0
ゴールボール	2個		2								2
鈴入りボール	3個		2				3				5
合計		21	4	37	46	0	5	22	4	0	139

オリンピック後（R3.8月以降）は、特にポッチャと競技用車いすの貸出が増加した。

(2) 県政出張講座について

テーマ	パラスポーツについて学ぼう 【ボッチャ体験】
実施日時	令和4年11月10日(木) 13時45分～14時30分
実施場所	長坂小学校体育館
当日参加者	長坂小学校 4年生児童58名 教員2名 計60名
講師	ボッチャ協会：小林会長 田中副会長 山梨県スポーツ振興課パラスポーツ担当
当日の流れ	講師紹介・ボッチャのルール説明・ボッチャ体験・児童感想発表

当日の様子



- ・山梨県ボッチャ協会の会長・副会長が講師として、ルールの説明やボッチャの技術的なアドバイスをした。
- ・児童はルールについて理解し、楽しみながらボッチャの体験をしていた。
- ・ボールを投げるときの腕の動作について、アドバイスをした後、児童は上手にボールコントロールができていた。
- ・児童の感想発表では、「ボッチャの体験ができて良かった」「アドバイスをしていただき、上手に投げることができて良かった」など、今回体験を通して、ボッチャ競技の技術的なことやボッチャの楽しさを学ぶことができていた。